

あなたが支える市民活動応援事業 補助金交付申請書

大分市長 足立 信也 殿

所在地 大分市大字佐賀関 750-88
団体名 一般社団法人
地域共生社会とウェルビーイング
を考える関愛会アカデミー
代表者氏名 代表理事 増永 義則
電話 080-8373-4619
担当者名 XXXXXXXXXX
担当者連絡先 XXXXXXXXXX

あなたが支える市民活動応援事業補助金交付要綱第5条の規定により、次のとおり申請します。

記

1. 事業名 佐賀関 学生によるスマホ教室
2. 事業の概要 スマホ教室を通じた地域住民のつながりのきっかけづくり
大学生によるスマホ教室を実施します。スマホ教室は毎月定期開催していきます。
大学生が交代で分担しながら、スマホの基本操作(LINE等)について地域住民の皆さんにマンツーマンで丁寧な指導にあたり、時間をかけながらゆっくりと学べる場を提供します。また、地域の方々と気軽に会話ができる機会を作っていきます。
3. 事業費 288,000 円
4. 交付申請額 169,000 円
5. 概算交付 ☐概算交付を希望する。
☒概算交付を希望しない。
※ 概算交付を受けるには、過去に当該事業で補助を受けた実績が必要です。
6. 添付書類 (1) 団体調書(様式1-1、1-2)
(2) 事業計画書(様式2)
(3) 収支予算書(様式3)
(4) 団体要件・事業要件確認シート(様式4)
(5) 誓約書(様式5)
(6) 規約、会則、定款等の写し
(7) その他市長が必要と認める書類

- (i. 本制度に関する予算については、3月の第1回定例会での予算可決をもって決定されます)
(ii. この内容は、大分市ホームページ等で公表いたします。)

団 体 調 書

1 団体の概要

団 体 名	(ふりがな) いっぱんしゃだんほうじん ちいききょうせいしゃかいとうえるびーいんぐをかんがえるせきあいはいあかでみー 一般社団法人 地域共生社会とウェルビーイングを考える関愛会アカデミー				
住所	〒 879-2201 大分市大字佐賀関 750-88				
代表者氏名	(ふりがな) ますなが よしのり 代表理事 増永 義則		FAX (団体)		
電話 (団体)	080-8373-4619		E-mail (団体)	taichirou-miyata@sekiakai.jp	
設立年月日	令和6年9月11日	ホームページ	無	団体構成員数	8
活動の分野 ※別表参照	主分野 (1つ)	保健、医療又は福祉の増進を図る活動		その他の分野	情報化社会の発展を図る活動
連絡責任者 ※この申請について問い合わせをしたときに対応できる方	住所				
	氏名		FAX		
	電話		E-mail		
主な活動地域	☐ 市内全域 ☐ 大分中央 ☐ 大分東部 ☐ 大分西部 ☐ 大分南部 ☐ 南大分 ☐ 鶴崎 ☐ 大南 ☐ 穂田 ☐ 大在 ☐ 坂ノ市 ☒ 佐賀関 ☐ 野津原 ☐ 明野				
団体の活動目的 ※簡潔明瞭に記入してください	関愛会アカデミーは、佐賀関地区の生活課題や地域ニーズを解決するために、地域の特性を活かして住民同士が支え合う持続可能な地域づくりを行うことを目的とし、令和6年9月11日に有志で立ち上げた一般社団法人です。 少子高齢化や過疎化が進む佐賀関地域において、住民同士のつながりの希薄化は顕著な地域課題となっています。近年のコロナ禍でイベントや地域行事の中止を余儀なくされ、地域団体同士のつながりも弱くなってきています。佐賀関アカデミーでは、そうした地域住民や関係団体間のつながりを相互に強化しながら、佐賀関地域で複合的に関わり交流できる場所や機会づくりに取り組んでいます。				
これまでの主な活動実績	年度	事業名		実施回数	参加者数
	5	学生によるスマホ教室		10回	延111名
	6	学生によるスマホ教室		10回	延80名
				回	名
これまでに補助や委託を受けた実績	年度	補助(委託)元	補助事業名		金額
	5	県中部振興局	大分県地域活力づくり総合補助金		758,000円
	6	大分市	あなたが支える市民活動応援事業		84,039円

2 活動計画書

事業の実施に関する事項

(1) 公益的活動に係る事業

1% 応援
事業補助
対象事業
を記載

事業名	事業内容	実施予定 日 時	実施予定 場 所	受益対象者の 予定人数 (延べ)	実施予定 回 数 (延べ)	予 算 額 (千円)
佐賀関 学生に よるスマホ教室	学生によるスマ ホ教室	月 1 回 計 12 回 第 4 土 10:00~ 12:00	佐賀関ふ れあいカ フェ	96 名	12 回	288
ふれあいカフェ	地域共生に向け た繋がり場の場づ くり	毎週金曜 10:00~ 15:00	佐賀関ふ れあいカ フェ	延 2,080 名	52 回	800
小 計					64 (a)	1,088 (c)

(2) その他の活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定 日 時	実施予定 場 所	受益対象者の 予定人数 (延べ)	実施予定 回 数 (延べ)	予 算 額 (千円)
小 計					0 (b)	0 (d)

合 計	(a) + (b) 64	(c) + (d) 1088
-----	-----------------	-------------------

カテゴリーごとの公益的活動の割合 ※小数点以下は四捨五入してください。	(a) / (a) + (b)	(c) / (c) + (d)
	100% (A)	100% (B)
全活動に占める公益的活動の割合 {(A) + (B)} ÷ 2 × 100 ※小数点以下は四捨五入してください。	100%	

事業計画書

事業名	佐賀関 学生によるスマホ教室	
事業内容	主な対象者	佐賀関に在住の市民のみなさま (特に高齢者)
	内容	スマホ教室を通じた地域住民のつながりのきっかけづくり 大学生によるスマホ教室を実施します。スマホ教室は毎月定期開催していきます。大学生が交代で分担しながら、スマホの基本操作(LINE等)について地域住民の皆さんにマンツーマンで丁寧な指導にあたり、時間をかけながらゆっくりと学べる場を提供します。また、地域の方々と気軽に会話ができる機会を作っていきます。
事業スケジュール ※別紙添付可	時期(月) 通年 計12回	内容(予定) 令和7年4月～令和8年3月の期間で、毎月1回、第4土曜日10:00～12:00にスマホ教室を開催します。
広報計画・方法 ※参加市民等の受益対象者の増加に向けた具体的な広報計画等	☐ ホームページ ☒ チラシ、広報誌 ☒ facebook等のSNS ☒ その他(具体的に) ふれあいカフェ通信(毎月)で全世帯へ回覧して周知していきます。	
自己収益金の拡大に向けた取り組み ※自己収益金とは会費収入、事業収入や寄付金収入等であり、補助金や交付金による収入は含まれません	このスマホ教室の取組みに賛同いただける方を増やししながら、寄付金収入の増額を目指します。	
見込まれる効果 ※地域にどのような効果をもたらすのか、また市民福祉の向上にどのようにつながるのか	総務省が進めている「誰一人取り残さない」デジタル化の実現に向け、特にデジタルデバイドのなりやすい高齢者の方を中心に、「学びたいときに気軽に学べる場」として気軽に相談できる機会の提供につながります。スマホの簡単な使い方等を徐々に学びながらデジタル化の苦手意識の克服やいろいろな便利機能を知ることによって少しでも暮らしの中で役立ててほしいと考えています。 また、LINE グループ等を通じて地域間でのコミュニティツールの活用も目指します。	
新規事業・継続事業の別	※申請事業について、該当する□にチェックしてください。 ☐ ① 1%応援事業の交付申請をするのは初めてである。 ☒ ② 以前に1%応援事業の交付申請をしたことがある。	

収支予算書

事業名： 佐賀関 学生によるスマホ教室

1 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
補 助 金 収 入	169,000 円	あなたが支える市民活動応援事業補助金
会 費 収 入		
事 業 収 入		
寄 附 金 収 入	60,000 円	
そ の 他	59,000 円	団体会計
合 計	288,000 円	

2 【支 出】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
報 償 費	288,000 円	@1,000 円×3 時間×8 名×12 回
旅 費		
消 耗 品 費		
燃 料 費		
食 糧 費		
印 刷 製 本 費		
通 信 運 搬 費		
広 告 料		
保 険 料		
手数料・委託費		
使用料・賃借料		
原 材 料 費		
備 品 購 入 費		
合 計	288,000 円	

備考 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。

なお、実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。